

2023-24 年度 RI 会長 ゴードン R マッキナリー (スコットランド・サウス・クイーンズフェリー・RC) 第2820地区ガバナー大久保博之 (水戸 RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023. 11. 16
第 2076 回例会

会長 鈴木崇久 会長外 島田洋次 幹事 照沼明美

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



12 月は疾病予防と治療月間です

会長挨拶 鈴木崇久 会長



皆様こんにちは、会長の鈴木崇久です。先週から今週にかけて、足早に秋が通り過ぎてしまい一気に冬の季節がやって来ました。我が家でも、大急ぎで羽毛布団を五来クリーニング店に出し、冬物の衣類を用意し、こたつと温風ヒーターを出して、床暖房も始めました。

先週は久慈中学校がインフルエンザの流行で学校閉鎖になったとの話を聞きました。新型コロナウイルスもまだまだ流行していますので、皆様も体調管理に努め、なるべく早く予防接種を受けて、感染しても重症化しないように努めましょう。もし、それでも発病してしまったら、「体が休めとシグナルを出しているのだ」と自覚して体調が回復するまで大人しく休息をとりましょう。

さて、今度の 19 日(日)は日帰り家族親睦会「茨城の秋めぐり」バス旅行が開催されます。参加される皆様はくれぐれも体調管理に努めて、元気にバス旅行を楽しみましょう。

例会報告

開会点鐘 鈴木崇久 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 宮田秀昇 親睦活動委員長

第一分区ガバナー補佐 鹿志村高道様 (日立南 RC) ようこそいらっしゃいました。

今週の会場の花
“ 赤いガーベラ ”
花言葉：チャレンジ



出席報告 五来美奈 SAA

会員数	出席数	出席率
34	20	62.5%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
3(本日1名出席)	12	100.0%

本日の食事メニュー：チキンカツカレー

にこにこ BOX 報告 五来美奈 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

●鹿志村高道様…ポリオ根絶運動、チャリティゴルフ大会、地区大会とお世話になりました。

目標 1,266,000 円
本日のご芳志 8,000 円
トータル 556,683 円

挨拶 鹿志村高道ガバナー補佐



皆さん、こんにちは。本日は鈴木稔さんからお声をかけていただき、例会に出席いたしました。

8月のガバナー公式訪問、9月のよかっぺ祭りでのポリオ根絶運動、10月の第一分区チャリティゴルフ大会と、皆さんに大変お世話になり本当にありがとうございました。また、先日の地区大会においても多くの参加をいただきました。ガバナー補佐としては、壇上で一声、「鈴木会長を率いる日立港ロータリークラブの皆さん」と言いたかったのですが、今年から割愛されてしまい、ガバナー補佐の出番が一つもありませんでした。

第一分区チャリティゴルフ大会で皆さんから集めた会費から経費を引いた残り 46000 円を、先日、

茨城新聞社に届けてきました。近いうちに掲載されると思います。

委員会報告

【親睦活動委員会 宮田秀昇委員長】

19日(日)の日帰り家族親睦旅行の最終案内です。集合は8時50分に旧常陽銀行大みか支店前、宇宙センターの見学には写真付きの身分証明書が必要です。見学前の飲酒は出来ませんのでご注意ください。

【古川英希ゴルフ同好会幹事】

12月21日(木)恒例、クリスマス例会親睦ゴルフコンペを開催します。出欠を事務局に連絡するか例会場で記入ください。

【太田秀夫会員】

11/25(土)~29(水)にかけて、コミュニティNET ひとちのデジタル写真同好会第4回写真展を多賀市民プラザ1階ギャラリーで開催します。

OBの滝田敦さんも出展していますのでぜひご覧になってください。

本日のプログラム

私とRC 桑名智行さん 『自己紹介』



2回目の「私とRC」です。
 ・2021年4月に入会しましたが、当時は、新型コロナウイルス感染防止のため、4月の例会は休会でした。

- ・初めての例会参加は5月13日でした。自己紹介を少しさせていただきました。
- ・初めての「私とRC」は2022年3月4日でした。

自己紹介

1. 出身：水戸市
2. 誕生日：1962年9月11日生 乙女座
 - *「9. 11」2001年アメリカ同時多発テロ発生
 - *1985年女優「夏目雅子(27歳)」が急性骨髄性白血病で亡くなった日
 - *1937年後楽園球場開場
3. 干支：寅(壬寅：みずえの寅) 2022年60歳の抱負

厳しい冬を越えて、万物が芽吹き始め、新しい成長の礎となる年 →無趣味のため老後の趣味を見つけない *未だに趣味が見つかりません。

4. 職歴

1981年 (株)日立製作所日立工場入社(硬式野球部入部) 総務部文書課調査係配属→1987年庶務課庶務係

1988年 日本コージェネレーション研究会出向 (結婚、36年目)

1990年 総務部庶務課管理係出向復帰→渉外係
 2004年 (株)ジャパンモータ&ジェネレーション出向
 2006年 日立埠頭(株)総務部出向
 2009年 (株)日立製作所日立工場勤労部安全課出向復帰
 2012年 日立埠頭(株)総務部出向→転属 現在に至る

5. 家族：妻一人、長男(独身、同居)、デグー(5代目)長女(既婚)

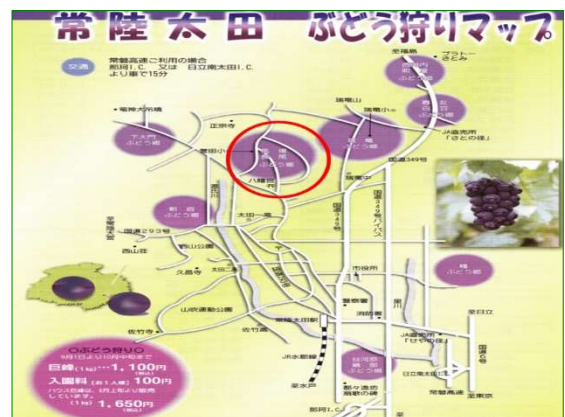
*デグー



*結婚秘話は割愛

我が家のフルーツ事情：梨・ぶどう・りんご

- ・地元の日立の中里レジャー農園にりんごを買いに行ったが、迷子に。結局、買えずに帰宅すること2回。
- ・6~7年前、大子町の帰りの夕方、りんごでも買おうかと、道沿いの販売所に立ち寄ったところ、後ろから地元の人のような軽トラックが販売所に横付け駐車。いきなり、店の人に「??」ある?と言いながら販売棚にあるりんご一袋を手にした。
- ・それを見ていて、地元の人が買うのなら美味しいのではと、買ったのが「高德(こうとく)」でした。
- ・以降、梨とぶどうは常陸太田市、りんごは大子町で季節になると毎週のように買いに出かけています。



・ぶどうの種類：巨峰、常陸青龍（オジナル）、シャインマスカット、バイオレットキング、シナノスマイル、など



・なしの種類：幸水、豊水、秋月、秀玉、あきあかり、秋泉、愛宕、秋甘泉、二十世紀など



大子町りんご園 りんごの種類：秋映、ひめかみ、シナノスイート、秋茜、パインアップル、名月、王林、青林、高德、ふじ など

飯村りんご園



りんご狩りや試食の他、お昼時?には、赤飯、こんにやく、お新香の接待もあります。

会員卓話

平元淳治さん

『常陽銀行の歴史紹介』



今回はわが社「常陽銀行の歴史」についてご紹介しようということにいたしました。しばらくお付き合いください。

概要 (2023年3月31日現在)

名称	株式会社 常陽銀行		
創立	1935年7月30日		
本店	茨城県水戸市南町2丁目5番5号		
電話番号	029-231-2151 (代)		
資本金	851億円		
拠点	国内：184店(本支店153、出張所31)	従業員数	3,089人
	海外：4駐在員事務所(上海、シンガポール、ニューヨーク、ハノイ)	総資産	13兆3,489億円
		預金	10兆2,512億円
		貸出金	7兆2,229億円
		自己資本比率	連結 14.86%(国内基準) 単体 14.39%

まず、概要です。「名称は常陽銀行。設立は1935年7月30日。おかげさまで、今年で88年経ちました。ありがとうございます。預金額・貸出金額とも地方銀行で5番手位のポジションです(上位は横浜・千葉・福岡・静岡)。

常陽銀行は、1935年(昭和10年)7月30日、常磐銀行(主に水戸が地盤)と五十銀行(主に土浦が地盤)が合併して設立されました。両行とも元は国立銀行です。当行の歴史に入る前に、母体となったこの2行の歴史について簡単に説明します。



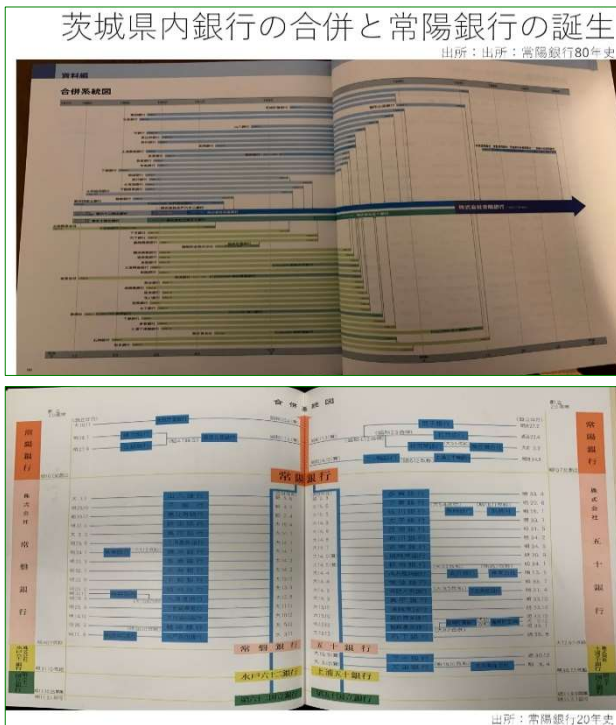
出所：常陽銀行20年史

1868年の明治維新後、産業や経済の近代化を図った日本政府は、1872年(明治5年)11月に国立銀行条例を公布し、国立銀行の設立を進めました。ここでいう国立銀行とは、国立銀行条例にもとづき設立された民間銀行のことで、紙幣の発行

権限を持つという点が私立銀行とは異なっていました。

この条例にもとづいて当初設立された国立銀行は、第一（東京）、第二（横浜）、第四（新潟）、第五（大阪）の4行であったが、1876年（明治9年）8月の国立銀行条例の改正により、全国に国立銀行の設立が相次ぎました。

茨城県内では、水戸、土浦、古河の旧士族が中心となり、78年（同11年）8月に第五十国立銀行（土浦）、9月に第百四国立銀行（水戸）、10月に第六十二国立銀行（水戸）、11月に第百二十国立銀行（古河）の4行が設立されました。しかし、国立銀行の乱立により紙幣が大量に発行されインフレを引き起こす結果となったことから、政府は国立銀行の新設を禁止するとともに国立銀行としての営業年限を20年と定め、以降は私立銀行としてのみ存続させることとしました。これは第六十二国立銀行が発行していた紙幣です。



茨城県内では、第五十国立銀行が97年（同30年）に株式会社土浦五十銀行（1923年 大正12年には五十銀行と改称）として、第六十二国立銀行が98年（明治31年）に株式会社水戸六十二銀行としてそれぞれ私立銀行に改組され、後の当行設立の2つの柱となりました。

このうち水戸六十二銀行は、いろいろやらかしまして、大蔵省の検査で定款違反などを指摘され、

営業停止の危機に直面したり、1903年（明治36）には経営に行き詰まり、休業状態になりました。

この危機に救済の手を差し伸べたのが川崎銀行（本店東京）の創始者で茨城県出身の川崎八右衛門です。川崎銀行の助けを得て、立ち直った水戸六十二銀行は、1907年（明治40）7月に株式会社常磐銀行と改称して再出発しました。ちなみこの川崎銀行を中心とする川崎財閥は現在の損保ジャパンの前身の一つである日本火災海上保険を設立しています。昭和18年に戦時統合により三菱銀行に吸収されました。

一方、国立銀行の設立とは別に、金融業を営む銀行類似会社が自然発生的に出現しました。茨城県内においては、1881年（明治14年）末に23社の銀行類似会社が設立され、84年末には49社に達していました。

その後、小規模経営では成り立たず淘汰されましたが、日清戦争による好況期を迎え、県内各地に資産家を中心として小規模な私立銀行が新設されました。1901年末には普通銀行52行、貯蓄銀行11行、農工銀行を合わせて64銀行に達するなど、多くの私立銀行が設立されました。政府は乱立を抑えるために、設立審査を厳しくして合併を促す等の策を講じます。

1914年（大正3年）7月～18年11月の第1次世界大戦がもたらした未曾有の好況も1920年の第1次反動恐慌によって終わり、特に1923年9月の関東大震災によって、不況はますます深刻化していきました。特に関東大震災時には関東一円の銀行はいずれも一時休業状態に陥り、政府および日本銀行は各種の救済措置を断行しました。

茨城県においては、1921年（大正10年）に茨城県銀行組合を結成して、県内金融の調整を図り、翌22年には県知事を会長とする銀行合同期成会が設置され、合同の方策について次の2案を決議しました。

第1案：既設有力銀行に合併し、被合併銀行はその支店となること。

第2案：地方の状況、その他取引関係により数多くの銀行を合併新設すること。

第1案については常磐、五十両行を中心とする合併が急速に進んだものの、第2案については多賀、日立、久慈、鉾田の各行の間で新銀行創設の計画は実現しませんでした。

そんな 1929 年（昭和 4）10 月、ニューヨーク株式市場の大暴落を機に世界恐慌が勃発しました。

世界恐慌は、我が国にも大きな影響を与え、福島、栃木、千葉、埼玉などの隣県の各地では銀行に取り付けが起これ休業する銀行が続出しましたが、茨城県内では先程お話したように銀行の集中化が進捗したため、恐慌の荒波を乗り切ることができました。

しかしながら不況は長引いたことから 1934 年（昭和 9 年）10 月、大蔵省は常磐、五十両行代表者に対して両行合併を勧めます。

こうして 1935 年 7 月 30 日に常陽銀行が誕生しました。



左が設立時の本店。右が現在の本店です。

設立当初の店舗数は 92。その後、重複店舗の統合により翌 1936 年 1 月には 64 カ店としました。人員整理があったが、日立製作所、日立鉱山等の協力もあり円滑に行われたそうです。

その後も大蔵省の「1 県 1 行主義」の推進に沿う形で県内に残っていた 4 行を合併、買収し 1945 年（昭和 20）には、名実ともに茨城県唯一の地元銀行としての態勢を整えました。

行名の由来

常陽という行名の由来ですが、

常 → 常陸国に由来。地方銀行としての地縁（ふるさと）を表示している。

陽 → 太陽。エネルギーの源泉で森羅万象の新陳代謝を支配しつつ、自身は永劫不滅、悠久を象徴。

明るく前向きであり、進み行く姿を表現しています。なお、このネーミングには当時の亀山頭取が苦勞されたそうです。地方銀行である以上、地域を表す字を使いたい。一方で合併する 2 行に配慮し全く新しい行名をと考える中で「常」の字を使うことへの心配がありました。結果、異議なく受け容れられ胸を撫でおろしたそうです。

ほかに候補となった行名としてご覧のようなものがありました。

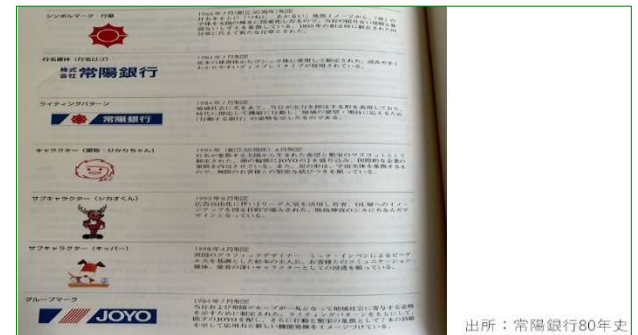
候補にあがった行名

茨城合同、常磐五十、五常、偕楽、東和、双葉、茨城、百十

なお、宮城県の七十七銀行は第七十七国立銀行が前身ですが、長野県の八十二銀行は六十三銀行と十九銀行が合併する際に数字を足し算して行名としました。



左が設立時の行章です。「常」の字を囲む 5 本の「太陽の光」が 10 方向に出ている様をかたどっています。前身の「常磐」「五十」両銀行に因んでいます。右が現在も使われている行章です。1965 年 7 月 設立 30 周年時に制定されました。「常」と「陽」をモチーフにしています。



キッパー以外は現在も使用しているロゴやキャラクターです。

因みにここで「銀行」の語源についてご紹介します。

なぜ「銀行」と言う？

「銀行」という名前の由来は、明治 5（1872）年制定の「国立銀行条例」の典拠となった米国の国立銀行法（「National Bank Act」）の「Bank」を「銀行」と翻訳したことに始まります。翻訳に当たり、高名な学者達が協議を重ね、お金（金銀）を扱う店との発想から中国語で「店」を意味する「行」を用い、「金行」あるいは「銀行」という案が有力になりましたが、結局語呂のよい「銀行」の採用

が決まったといわれています。

「Bank」の語源は、12世紀頃、当時世界の貿易、文化の中心地であった北イタリアに生まれた両替商（銀行の原型といわれている）が、両替のために使用した「BANCO」（長机、腰掛）とする説があります。（出所：日本銀行HP）

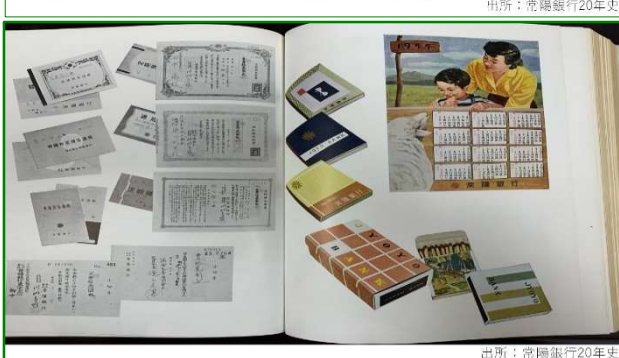
高度成長期
(店舗網拡大と機械化・コンピュータ化)

日立支店 1951 (昭26) 12月竣工 現店舗1978 (昭53) 10月竣工	多賀支店 現店舗1974 (昭49) 10月竣工	久慈浜支店 1957 (昭32) 12月竣工 現店舗1993年 (平5) 6月竣工
---	-----------------------------	---

そんなこんなで誕生した常陽銀行ですが、戦後の混乱期を乗り越え高度成長期になる昭和30年代から40年代にかけて、店舗網の拡充と機械化・コンピュータ化に注力していきます。

これは日立市内の店舗の昭和30年代の写真です。ちなみに日立市内の当行の店舗で最も営業年数が長いのが久慈浜支店（1926年大正15。今年の4月で97年になります。続いて日立支店（1928昭和3.3月）多賀支店（1939昭14.12月）です。

その他兎平支店は1973（昭和48）年11月、日高支店は1979年昭和54年4月、大みか支店は1985年昭和60年2月 十王支店は1988年昭和63年10月の開設です。



機械化・コンピューター化についてですが、1965年（昭和40年）6月の現在の本店新築と同時にIBM1440を2セット導入し、PCS (Punch Card System) 作業の切り替えに着手しました。同時に、普通預金利息計算のオフライン集中処理が開始。69年4月には、普通預金利息計算処理の全店実施、決算事務の集中処理などを開始。これにより営業店の事務負担を軽減することができました。また、1971年（昭46年）7月に事務センター竣工と同時にHITAC8500を導入し、73年には普通預金と為替が74年には全業務が全店オンライン化しました。また、給与振り込みの増加もあり1973年（昭48年）にはキャッシュカードと現金自動支払機(CD)の取り扱いを開始しました。その後のジャパンアズNo1時代からのバブル景気とその崩壊を経て日本経済は低成長時代に突入します。その中で、1997年から98年にかけての北海道拓殖銀行、山一証券、長信銀の破綻を目の当たりにした金融業界は規模拡大を志向。

その結果、98年に21行（都銀11、長信銀3、信託7）あった大手行の再編が一気に進みました。

メガバンクの誕生

- ・2000年9月「みずほホールディングス」
(第一勧銀・富士・日本興業)
- ・2001年4月「三菱東京フィナンシャルグループ」
(東京三菱・三菱信託・日本信託・東京信託)
「UFJホールディングス」
(三和・東海・東洋信託)
「三井住友銀行」(住友・さくら)
- ・2002年3月「りそなホールディングス」
(大和・近畿大阪・奈良+あさひ)

主要行の再編の流れです。みずほホールディングスはみずほFGになっています。また三菱東京FGはUFJと統合し三菱UFJFG (MUFG) となり更なる再編が進みました。その余波は地方銀行にも当然ながらやってきました。大手行の再編から数年ののち、地方銀行業界でも再編が進みます。

地方銀行も規模拡大へ

- ・2004年9月 「ほくほくフィナンシャルグループ」
(北陸・北海道)
- ・2007年4月 「ふくおかフィナンシャルグループ」
(福岡・熊本・十八親和・みんな)
- ・2016年4月 「コンコルディアフィナンシャルグループ」
(横浜・東日本) など

※経営統合や事業領域拡大目的で24のグループが現存。

(出所：金融庁HPを基に作成)

主要な地方銀行グループの再編です。

そのような中、当行もより強固な経営基盤を築くため隣県栃木県の足利銀行との経営統合に踏み切りました。「めぶきフィナンシャルグループ」の誕生です。



社名に込めた思い

「めぶき(芽吹き)」は「樹木の新芽が出始めること」を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。社名には、地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的な成長を実現していく思いを込めています。両行は今後ともグループ内での協力関係を続けながらも独立した銀行として切磋琢磨していきます。

常陽銀行の経営理念

「健全、協創、地域とともに」

私ども常陽銀行は地域金融機関として、お客さまのため、地域のために何ができるのか、懸命に考え実践してまいります。「健全、協創、地域と共に」という経営理念のもと、堅実な営業、健全な経営を行い、お客さま・地域・株主の方々と共に価値ある事業を創造していくことにより、地域社会・地域経済の発展に貢献してまいります。地域への円滑な金融サービスのご提供という本来業務の実践の姿こそが、当行が考える「地域貢献の姿」です。今後とも常陽銀行をよろしく願っています。ご清聴ありがとうございます

閉会点鐘 鈴木崇久会長

日帰り家族親睦旅行報告

宮田秀昇親睦活動委員長

11月19日(日)5年振りとなる日帰り家族親睦旅行「茨城の秋めぐり」を催行しました。当日はお天気にも恵まれ、絶好の行楽日和となりました。会員、ご家族をはじめ長期留学生 Willa さん、ホストファミリーの渡邊様、米山奨学生 錢さんを含め総勢30名で実施されました。

行程

旧常陽銀行大みか支店前出発 ⇒ 筑波宇宙センター展示館及び見学ツアーへ参加 ⇒ 牛久シャトー レストラン・シャトー見学 ⇒ 牛久大仏 参拝(胎内見学) ⇒ 帰路へ
バス乗車後、鈴木会長のご挨拶後、一路 筑波宇宙センターへ。移動中、見学終了まで飲酒厳禁として、のどの渇きにもご辛抱を頂きながら車内は静かな雰囲気スタートとしました。

筑波宇宙センターへの入館は、本人確認など厳重なセキュリティチェックを受け、展示館・見学ツアーへ参加しました。

- ①筑波宇宙センター紹介映像
- ②宇宙飛行士養成エリアの見学
- ③「きぼう」運用管制室を見学しました。

宇宙飛行士の過酷な訓練、宇宙ステーションの映像やデータの監視、実験装置のリモート操作など管制室の運用について拝聴し、壮大な宇宙を身近に感じることができました。

見学終了後 禁酒が解け、車内は一気にヒートアップ大いに盛り上がり、次の国指定重要文化財牛久シャトーへ。明治期に建築されたワイン蔵時代の雰囲気漂う牛久シャトー本館で記念撮影、神谷傳兵衛記念館、オエノンミュージアム散策そしてレストランにて昼食となりました。

今回はフレンチ コース料理を準備しました。

岩田会員による乾杯のご発声で開宴となり、ワインを片手にゆっくりとお料理に舌鼓、和やかで賑やかな昼食会となりました。赤・白ワイン・スパークリング、クラフトビール、電気ブランなど大分飲み過ぎた方もおられた様で?その後、ショップにて各自お土産などの購入をしました。

最後に世界最大120mの青銅仏像 牛久大仏を拝観しました。大仏胎内へエレベータで上がり各界への参拝をしました。御朱印を頂いた方もおら

れました。そしてスケジュール通り、無事、帰着の途となりました。

今回の旅行に対し、菅原会員、岩田会員より差入れを頂戴致しました。心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、本企画にご協力を頂きました日立埠頭様には、大変お世話になりました。今後とも宜しくお願いいたします。

結びになりますが、いろいろと幹事の勝手もあつたことと思いますが、お許しを願います。

皆様のご協力により無事、賑やかで楽しい親睦旅行となりました。引き続き、会員、ご家族、ビジター相互の親睦を深められるよう尽力して参りますので、今後のイベントへの参加を何卒宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。





2023-24 地区大会表彰

11月4日(土)、地区大会の会長幹事会において、RI表彰と地区表彰が行われました。

当クラブの受賞は次の通りです。

RI表彰

2022-23 年度ロータリー賞



2022-23 年度

「Every Rotarian, Every Year」クラブ

この表彰を受けるクラブは世界でわずか 3,800 クラブです(1ロータリー年度の会員一人あたり年次基金への平均寄付額が100米ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも25米ドル以上を寄付したクラブ)



2022-23 年度 100%ロータリー財団寄付クラブ

この表彰を受けるクラブは世界でわずか 4,500 クラブです(1ロータリー年度の会員一人あたりの平均寄付額が100ドル以上であり、会費を支払

っているすべての会員が、ロータリー年度内にいずれかの寄付先に対して少なくとも 25 米ドルを寄付したクラブ。



地区表彰

満 85 歳以上の会員 (2023.6 月 30 日まで)
小松弘二さん (1937 年 4 月 8 日生まれ)

長期休暇 (冬休み) 前フードパントリー寄付のお願い

菅原光雄社会奉仕委員長

当クラブ平田伸一会員を通して、寄付の協力依頼が届けられました。今回も当クラブとして協力したいと思っておりますので、下記により会員各位の協力をお願いします。

主催 日立市社会福祉協議会・ぷりっ茶実行委員会
1. 市内在住の 18 歳以下の子どもがいるひとり親世帯、準要保護世帯

2. 収集方法 12 月 14 日 (木) 例会までに「美かの」に会員各自持参。その後社会奉仕委員会ほか有志にて同協議会に届ける。

3. 対象の品物 コメ、レトルト食品、缶詰、乾麺、乾物、菓子などで、賞味期限が 2024 年 3 月以降、未開封のもの

食品の寄付にご協力ください

食品無料配布会を実施しますので、配布会にて提供する食品の寄付をお願いいたします。

【配布期間】 12月23日(土)~25日(月)
【対象者】 18歳以下の子どもがいるひとり親世帯 準要保護世帯 (先着150世帯を予定)

寄付いただきたい食品

お米・乾麺等 レトルト/インスタント食品 缶詰・瓶詰

菓子類 調味料

※常温保存が可能・未開封・賞味期限が2024年3月以降のもの

今後のスケジュールのご案内

- 12 月 14 日 (木) 例会 美かの 12:30~
「年次総会」
- 12 月 21 日 (木) 夜間例会 18:00 プルチーノ
「忘年例会・クリスマスパーティ家族親睦会」
- 12 月 28 日 (木) 休会 (定款第 6 条第 1 節(C)項)
- 1 月 4 日 (木) 休会 (定款第 6 条第 1 節(C)項)
- 1 月 11 日 (木) 夜間例会 美かの 18:00~
「新年例会」

サロン美かの

▼やはり当クラブ親睦活動日帰り家族旅行は楽しい。奨学生銭さん、交換学生 Willa さんも参加。親睦委員会のコース選択もよかった。▼まず、筑波宇宙センターだがその規模・発展が凄まじい。小学生の頃東大が行う小さなペンシルロケット実験のニュースを聴いていた私にとって感無量。▼再建された牛久シャトーでは、連続 TV ドラマ「マッサン」のテーマ曲「麦の唄」(中島みゆき)が頭に浮かんだ。ワインとウィスキー、ブドウと麦の違いはあれど。▼牛久大仏がなぜ常陸に?それはここが浄土真宗宗祖「親鸞」が流罪後移り住んだ地で、帰京(京都)後も息子善鸞を派遣して布教させた地だから。のちに異端の教えが広まって親鸞が苦勞するのだが。▼これら3つを回って、日本人のフロンティアスピリットを思わずにられない。なぜその仕事を?と問われれば「天職」(英 Calling、独 Berufung)だから。これって「職業奉仕」に通じませんか。▼ところで、牛久シャトーの料理はいかがでしたか。(のり)

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

- ◆ **クリスマス例会親睦ゴルフコンペ**
12 月 21 日 (木) 9:48 スタート
グランドスラムカントリークラブ 西コース
- ◆ **忘年例会 クリスマスパーティ家族親睦会**
12 月 21 日 (木) 18:00 プルチーノ
ご出欠の申込みは、例会場受付または
電話・メールにて事務局まで!!!

発行: 日立港ロータリークラブ (翌例会日)
編集: 会報・雑誌委員会
山口憲生 鋤柄純忠 桑名智行
笹尾 光 中野紀子 (事務局)
URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>
E-mail: info@hitachi-ko-rc.com